

Vol.53 No.1 目次

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/48816

Volume 53. No. 1
July 2005

ISSN 0388—6212

植物地理・分類研究

(通卷 第 157 号)

THE JOURNAL
OF
PHYTOGEOGRAPHY AND TAXONOMY



植物地理・分類学会

PUBLISHED BY
THE SOCIETY FOR THE STUDY OF
PHYTOGEOGRAPHY AND TAXONOMY

目 次

論文

- 鳴橋直弘・西川孝行・岩坪美兼：日本のオヘビイチゴ (*Potentilla anemonefolia*) とヒマラヤのオヘビイチゴ (*P. sundaica*) の分類学的関係1
- 逢沢峰昭：証拠標本と生育地確認に基づいた分布記載の再構築 —本州産亜高山性針葉樹5種を例として—13
- 汪 正祥・藤原一繪・雷 耘：中国の *Fagus lucida* 林と *Fagus engleriana* 林に関する植物社会学的研究43
- 安溪貴子・村田 源：日本固有種ミヤマウメモドキ *Ilex nipponica* Makino (モチノキ科) の山口県内群生地の現状67

短報

- 池田 博・吉野由紀夫：ヒメヘビイチゴ (バラ科) の新産地と日本における分布75
- 上條隆志・清原諭高・松田深雪・加藤 拓・星野義延・樋口広芳：三宅島 2000 年噴火後のユノミネシダの分布拡大83

ノート

- 堀江健二・宮本義憲・木村徳志・鴨田重裕：北海道におけるシダ植物の新産地91

追悼

- 吉田國二：井波一雄氏を悼む93

- 新刊紹介99

- 植物関連雑誌のタイトル紹介105

- 会記110

表紙図の説明：

描かれた植物は、ユリ科パイモ属コシノコパイモで、山形県から石川県の日本海側とまれに岐阜県、愛知県、静岡県にも分布する。北陸では産地も個体数も多く、他地域と比べ大形である。本学会が金沢で生まれ北陸を中心に発展してきたことから、この北陸の植物を表紙に使用した。図は梅林正芳氏が描いたもの。